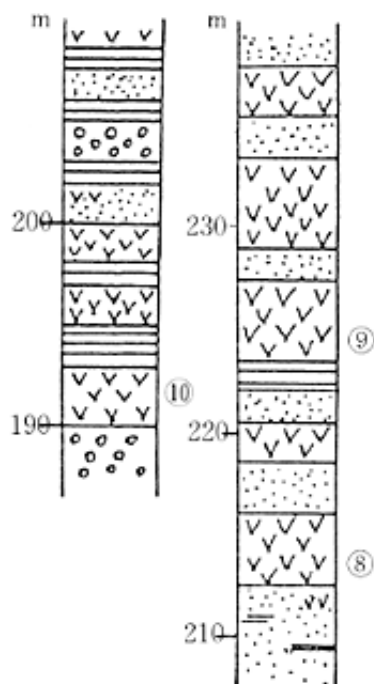


コナラ属 *Quercus* sp.

▲発見地点
垂水区名谷町(左)
兵庫区鶴越(右)
の柱状図



■ドングリの殻斗(かくと)



▲クヌギに似たタイプ



▲コナラに似たタイプ

コナラ属 (クヌギに似たタイプ)

葉は長い楕円形で細長く、二次脈は平行にのび、のこぎり葉を作る。葉の先は鋭くとがり基部は円くなっている。コナラ属と思われる果実(ドングリ)も発見されているが、識別がむずかしい。

現生のコナラ属は北半球の暖帯から温帯に約300種以上が分布している。

神戸層群からはこのコナラ属と思われる化石はよく発見されており、場所によっては密集していたり、折れ曲がって地層に入っている場合が多い。

(ブナ科 コナラ属 *Quercus* L.)